

基本目標1 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値に対する所見
就業者数	7,740人(平成27年)	6,300人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	6,300	—	実績値については、国勢調査実施年度である令和7年度のみ算出可能なため、令和3年度～令和6年度における実績値は算出不可。
			実績値	—	—	—	—	—	—	

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 人材育成・雇用対策									
① 地域人材の就労支援									
豊かな労働環境の充実支援事業	砂川高校からの市内企業就職率 ／36.7%(令和元年)→40.0%(令和7年)	目標値	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	—	新型コロナウイルス感染症の影響で砂川高校生徒に対する事業の実施ができず、市内企業のPRがうまく出来なかったことが、就職率の低下に繋がったと考える。事業内容を精査しながら、引き続きコロナ禍前同様の取組をすすめていく。
		実績値	36.6	25.0				—	
② 企業立地等の促進による就労の拡大									
雇用創出事業(企業振興促進対策事業)	施設新設等を行った企業の新規雇用者数 ／0人(令和元年)→15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	新たな施設新設等の補助実績がないため、実績値としてはあがっていないが、今後2社に施設移設の補助予定のため、引き続き事業を継続していく必要があると考える。
		実績値	0	0				0	
③ 医療・介護従事者等の確保・育成									
介護人材育成支援事業	研修終了者数 ／1人(令和元年)→35人(5年間)	目標値	7	7	7	7	7	35	当初予算時、実務者研修の補助について7名を予定していたが、1名退職したため6名分の実績となった。引き続き、介護人材の安定確保のため制度活用の推進に努める。
		実績値	7	6				13	
④ 農業の担い手の確保・育成									
農作業受託組織等育成支援事業	農作業受託面積 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが、農作業受託団体等の組織の設立までは至らなかった。今後も組織の設立を促進していくとともに、農作業を受託している団体等へは機械導入費用などを支援する。
		実績値	0	0				—	
新規就農者支援事業	新規就農者数 ／3人(第1期6年間)→4人(5年間)	目標値	0	1	1	1	1	4	今年度の新規就農者はいなかったが、今後も引き続き新規就農者の誘致の取り組みを図るとともに、新規就農者に対して農業機械や資材等の購入への支援を実施する。
		実績値	2	0				2	
(2) 産業の競争力強化									
① 商工業振興策の実施									
地域ブランド構築事業	チームを構成する事業者数 ／21事業者(令和元年)→75事業者(令和7年)	目標値	41	51	59	67	75	—	(一社)オアリパが設立され、認知度が向上し参加事業者数が増えている。今後は(一社)オアリパが地域内での認知度を向上させる取り組みを支援していく。
		実績値	40	47				—	
	地域ブランドの商品数 ／22品(令和元年)→50品(令和7年)	目標値	30	35	40	45	50	—	展示会等への出展や新商品の開発には至らなかったが、(一社)オアリパでは新商品を開発中であり、今後も事業者同士の連携を促していく。
		実績値	29	29				—	
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数及び事業承継件数 ／2件(令和元年)→4件(令和7年)	目標値	2	2	3	3	4	—	ワンストップ相談窓口などの創業支援事業及び関係団体の連携により、6件の創業が実現した。また、商工会議所による創業セミナーが開催され、延44人(実13人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
		実績値	5	6				—	
② 農業振興策の実施									
農業6次産業化支援事業	連携取組数 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが実績はなかった。今後も6次産業化に向けた取り組みを推進するとともに、各種支援制度について情報提供などを行う。
		実績値	0	0				—	

小計(事業数:8、KPI数:7)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値に対する所見
観光入込客数	1,625千人(令和元年)	1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	令和4年度は国が示したガイドライン等に基づき、感染拡大防止策を講じたなかで各観光関連団体による事業が実施されたが、新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化等により、観光入込客数が減少したものを考える。
			実績値	902.9	1,168.5					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 地域と多様な形で関わる人口の拡大									
① 移住定住の促進									
移住定住促進事業	お試し暮らしの利用組数 ／7組(令和元年)→55組(5年間)	目標値	11	11	11	11	11	55	令和4年度のお試し暮らしの利用は、利用者数が6組10人と昨年度(2組4人)より増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル等もあり、目標値まで達しなかった。 令和5年度については、新型コロナウイルスの影響も緩和されたことから、お試し暮らし利用者との交流会を行うほか、引き続き市HPや協力隊SNS等による情報提供の充実及び関係人口の増加を図る。
		実績値	2	6					
医療・介護従事者移住定住促進事業	補助金交付件数 ／一件(令和元年)→10件(各年度)	目標値	10	10	10	10	10	—	目標値に対し、1件の減であり、概ね見込みどおりの実績であった。 今後においても、情報提供の充実を行い、利用促進を図る。
		実績値	9	9					
UIJターン新規就業支援事業	支援金交付件数 ／一件(令和2年)→1件(各年度)	目標値	—	1	1	1	1	—	該当企業に勤務等する実績がなく、件数は0件となっている。 今後も、事業周知に努め、実施していく。
		実績値	—	0					
	マッチングサイト求人掲載数 ／一社(令和2年)→5社(各年度)	目標値	—	5	5	5	5	—	マッチングサイトへの掲載実績がなく、件数は0件となっている。 今後も、事業周知に努め、掲載数の増加に努める。
		実績値	—	0					
② 観光振興の推進									
観光客誘客宣伝推進事業	観光入込客数 ／1,625千人(令和元年)→1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	令和4年度は国が示したガイドライン等に基づき、感染拡大防止策を講じたなかで各観光関連団体による事業が実施されたが、新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化等により、目標値を下回ったものとする。 今後は、新型コロナウイルスの影響が緩和されたことから、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値	902.9	1,168.5					
	砂川観光協会ホームページアクセス数 ／132千件(令和元年)→134千件(令和7年)	目標値	132.4	132.8	133.2	133.6	134.0	—	令和4年度は国が示したガイドライン等に基づき、感染拡大防止策を講じたなかで各観光関連団体による事業が実施されることに伴い、観光協会ホームページでも事業実施の情報発信をしたことにより、目標値を上回ったものとする。 今後は、新型コロナウイルスの影響が緩和されたことから、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値	132.6	157.7					
ふるさと応援寄附金推進事業	ふるさと応援寄附者の情報メール新規登録件数 ／87件(令和元年)→120件(各年度)	目標値	120	120	120	120	120	—	ふるさと応援寄附金の寄附者が増えたことによる増加。今後は、掲載サイトを充実させ、寄附者のさらなる増加を目指す。
		実績値	231	175					
③ まちなかのにぎわい創出									
駅前地区整備事業	施設前の歩行者通行数 ／273人/日(令和元年)→327人/日(令和7年)	目標値	—	—	—	330	327	—	施設整備前のため、歩行者数を計測していない。
		実績値	—	—					
(2) 高等学校の活性化									
① 地元学校への進学促進									
砂川高校支援事業	砂川高校入学間口数 ／3間口(令和元年)→3間口(令和7年)	目標値	3	3	3	3	3	—	令和4年度より2間口となり、目標値には達していないが、入学者数は62人であり、前年度(49人)より増となった。 今後も、充実した支援内容の検討と、砂川高校の特色を広く周知するための方策についても連携を図っていく。
		実績値	3	2					

小計(事業数:7、KPI数:9)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値に対する所見
出生数	74人(令和元年)	108人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	108	—	令和4年の出生数は83人、合計特殊出生率は1.317と微増した。妊娠・出産を支えるには、母体となる母の健康、産み育てる経済・社会環境の多岐にわたる支援が必要であることから、市全体の取組みとして、推進していく必要がある。
			実績値	72	83					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援									
① 婚活支援の推進									
すながわ出会い創出支援事業	実施事業への参加者数 ／0人(令和元年)→30人(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施には至らなかったが、すながわ出会い創出支援協議会を開催し、イベント開催に向けた情報交換を行った。
		実績値	0	0					
結婚新生活支援事業	支援を受けた組数 ／一組(令和元年)→5組(各年度)	目標値	5	5	5	5	5	—	対象となる可能性のある新婚世帯には漏れなく周知を行っているが、実績値は目標値の5組を下回っている。今後も制度の周知を図るとともに、対象者の拡大等、国の制度改正状況を注視していく。
		実績値	5	3					
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援									
① 妊娠・出産への支援の実施									
特定不妊治療費助成事業	利用者アンケートにおいて「満足」と回答した割合 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値は目標を達成した。今年度3人延4人に助成した。令和4年度より、一部医療保険の適用となることを受け、自己負担分の全額助成とするよう要綱を改正し、経済的負担の軽減を継続している。
		実績値	100.0	100.0					
妊婦一般健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用枚数 ／525件(令和元年)→670枚(各年度)	目標値	670	670	670	670	670	—	妊娠届出53名、転入6名と、妊婦数は減少しているため、実績は減少しているが、全妊婦が健診を受診している。里帰りの場合も各医療機関と委託契約を締結して、経済的負担の軽減を図っており、今後も継続していく。
		実績値	577	528					
子育て世代への切れ目のない相談支援事業	訪問指導実施率 ／—(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値の内訳は、初妊婦訪問は93.5%で、未訪問者は流産等であった。乳児全戸訪問は97.6%、未訪問2名は出生後すぐに転出のため、転出先へ引継ぎをし、転入者は、面談等を行い、対象となる母子には会っている。乳幼児健診等においても引き続き相談体制が継続されている。
		実績値	96.9	95.6					
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／44.7%(令和元年)→60%(各年度)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	登録者41名の内、12名の利用があった。登録者の増加から、必要な妊婦へ事業が認知されてきている。今後も出産時の安心に繋がるよう、周知を継続していく。
		実績値	46.1	52.6					
② 子ども・子育て支援の充実									
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育充足率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	利用登録者93名、実利用者21名、延べ利用者137名。今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症により、風邪症状にあっても、家族全員の自宅療養や検査等が勧められるなど、保護者が休んで児童を保育するケースが多かった。利用者の施設に対する評価は高いことから、保護者へセーフティーネットとしての施設の理解促進と安全・安心の環境を整備していく。
		実績値	100.0	100.0					
市立保育所開放事業	参加親子組数 ／102組(令和元年)→150組(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	前年度のように新型コロナウイルス感染症による開催中止はしなかったものの、保育所での流行状況について予約者に情報提供する必要があり、このことで参加を控えた世帯があった。保育所が持つ専門的機能を地域の保護者へ積極的に提供していく必要があり、今後利用者が増加するように取り組む。
		実績値	24	37					
市立保育所一時保育事業	一時保育事業実施率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	延べ利用者471名。主に「私的理由」による利用登録者において、新型コロナウイルス感染症等の流行時期に利用を控えた世帯があったため、前年比減となった。保育士確保が課題であるが、シフト調整などで受入れ体制を整え、ニーズに応じていく。
		実績値	100.0	100.0					
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(令和元年)→0人(各年度)	目標値	0	0	0	0	0	—	今年度も待機児童を出さず運営できたが、指導員不足によりシフト調整が困難な時期があり、学童保育所間で指導員を調整するなどに対応した。利用児童が年々増加傾向にあることから、安定的な運営のため必要な指導員数を確保しなければならない。
		実績値	0	0					
③ 子育て世帯の経済的負担の軽減									
ふしぎの森利用無料クーポン券支給事業	クーポンを利用した世帯の割合 ／57.7%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	目標値は達成できなかったが、クーポン券利用世帯数は前年と比較して増加しており、引き続き周知を図っていく。
		実績値	32.7	49.7					
乳幼児等医療費助成事業	対象者1人当たりの助成額 ／—(令和元年)→8,400円(各年度)	目標値	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	—	新型コロナウイルス感染症の影響については令和3年度同様であるが、対象者数の減少などにより医療費が低く抑えられたと想定される。令和5年8月より段階的に対象者を拡大し、子育て世帯の負担軽減となるよう、必要な時に医療を受けやすい環境の整備を継続していく。
		実績値	7,493	7,758					
インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	接種率 ／55.9%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	60.0	—	希望する対象者が接種できるよう、市内の体制を早期に確認し、周知した。また、新型コロナウイルス感染症拡大予防と関連し助成期間を延長したことが実績増加の一因。今後も自己負担の助成を継続していく。
		実績値	39.9	45.9					

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
④ 小中学校の学習環境の充実	放課後学習サポート事業	授業理解度 ／85.0%(令和元年)→87.5%(令和7年)	目標値	85.0	85.0	85.0	87.5	87.5	—	結果として目標値を下回った。国語は全国・全道平均を上回ったものの、算数は下回っており、教科による理解度の差が見られた。今後はさらに参加者数を増やすべく周知を図りつつ、算数科の学習内容の理解を深める指導を推進させていく。
			実績値	87.8	83.0					
	中学校英語教育推進事業	英語検定合格率 ／—(令和元年)→50%(令和7年)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	実施2年目となった令和4年度は、88名の受検(内2名は当日体調不良により欠席)があり61名が合格(69.3%)となり、合格率としては目標値を超え一定の効果はあったと考える。しかし、受検者数が全体の25%程度であることから、学校との連携を図りながら当制度の有効な活用を奨励していく。
			実績値	75.0	69.3					
	小中学校適正配置推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	砂川市立小中学校統合準備委員会を8回、砂川市立小中一貫教育推進委員会を3回開催し、統合と小中一貫教育の推進について議論を重ね、石山中学校を閉校し、中学校を統合。小中一貫教育と義務教育学校建設についてそれぞれ道外先進地への視察を行った。今後についても統合準備委員会や推進委員会における協議を継続し、令和8年度の義務教育学校の開校を円滑に進める。
			実績値	—	—	—	—	—	—	

小計(事業数:16、KPI数:15)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標4 安心して暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値に対する所見
人口増減率	△7.04%(平成27年～令和2年)	△5.13%(令和2年～令和7年)	目標値	—	—	—	—	—	△5.13%	基準値と令和4年度の実績値(H29～R4)を比較すると、人口減少が進んでいる傾向がみられる。R3年10月～R4年9月の自然・社会増減の合計は△235人と、ここ数年よりも減少幅が縮小したものの、実績値の算出に加えていないH28年10月～H29年9月までの自然・社会増減の合計(△144人)よりも、減少幅が大きかったことから、実績値が悪化している。令和3年度末より実施している転出入者アンケートを基に、転出入者の動向を確認し、対策につなげる必要がある。
			実績値	△7.77%	△8.38%					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保									
① 地域包括ケアシステムの充実									
砂川市地域包括ケアネットワーク事業 (情報共有ネットワーク事業)	事業所が参照したデータ件数 ／21,866件(令和元年)→22,000件(令和7年)	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	—	市内の8割以上の医療機関及び介護事業所等が加入しており、市内外から毎年数件の新規加入がある。患者の情報提供の同意件数及び情報の参照件数も安定的に推移しており、医療・介護連携に活用されていることが分かる。今後ますます在宅医療と介護をつなぐ地域包括ケアが重要となることから、引き続きシステムを活用し情報連携の充実を図る。
		実績値	30,378	29,921					
② 健康維持・増進の推進									
健康管理支援事業	国保特定健診受診率 ／54.7%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	R3年度の実績値は、暫定値は43.1%で、法定報告の確定値では48.3%となったが、目標値には達していない。がん検診は集団健診時に後期高齢者健診を実施することで、受診数は若干増えたが、昨年度よりも低率となった。乳幼児健診は、例年通りほぼ100%を維持している。国保特定健診、がん検診は、さらなる受診率向上に向けて取り組んでいく。
		実績値	確定値48.3	暫定値46.7					
健康ポイント事業	参加申請者数 ／991人(令和元年)→1,250人(令和7年)	目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	—	ポイント対象事業の特定健診やがん検診は計画通り実施できたが、R3年度同様、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、食生活改善協議会やスポーツ振興課、市立病院などの事業が中止となり、事業周知の機会が減ってしまった。今後も周知方法を検討し、対象事業の際には積極的に周知していく。
		実績値	905	893					
若年者生活習慣病予防健診事業	保健指導実施率 ／—(令和元年)→100%(令和7年)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	小学5年生13名(受診率15.1%)、成人2名に実施。保護者や本人にできるだけ面接し、有所見項目や将来の生活習慣病予防、女児のやせ願望について、保健指導や栄養指導を行った。昨年度からの支援の子は、食生活や嗜好品の摂り方を改善したことで体重増加が改善されていた。今後も健診結果の事後指導を丁寧に行っていく必要がある。
		実績値	100.0	80.0					
いきいき元気推進事業	レクリエーション活動等の利用者数 ／—(令和元年)→480人(各年度)	目標値	480	480	480	480	480	—	介護福祉課と連携し、いきいきシニアプログラムでの講師や地域おこし協力隊としての独自事業を行い、目標を大きく上回ることができた。今後は地域おこし協力隊それぞれの特徴を活かした独自事業の充実を図っていく。
		実績値	143	612					
③ 高齢者等の在宅生活の支援									
地域高齢者見守り事業	情報交換を実施した団体数(3年で一巡) ／30団体(令和元年)→30団体(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	コロナ禍の影響により、町内会での会合が自粛されていたことから、高齢者名簿情報提供事業で町内会役員が社協に訪れた際に地域包括支援センターと共に地域実情及び活動状況について随時聞き取りを実施した。引き続き、情報提供事業の機会等を活用して情報交換を行っていく。
		実績値	0	39					
生活支援体制整備事業	地域事情の把握に努めた町内会・自治会の数 ／4団体(令和元年)→15団体(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	空知太すみれ町内会においてコロナ禍等で延期していた「地域の魅力と絆を語ろう会」を実施した。令和元年度から4年間、9団体と「語ろう会」(社協主催)を実施し、地域事情の把握に努めてきた。今後は「語ろう会」で得た地域課題から、町内会ぐるみで地域支援力を高めていくための協議や活動の提案に繋げていく。
		実績値	3	1				4	
④ 地域公共交通の確保・維持									
JR砂川駅設備改善事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	令和4年度は、交通量調査、利用者意向調査、利用実態の把握(駅の現状)、課題の整理、東口整備の方針、整備概略図及びアンケート調査結果をJR北海道へ提出し、JR砂川駅の設備改善の必要性について一定程度の理解を得ることができた。また、国勢調査個別データを使用し、通勤通学等で砂川市内の交通手段(鉄道、バス等)を利用している者に関する地域別統計表などを作成し、JR砂川駅整備改善事業に関連する地区状況の説明を行った。今後は、JR北海道で令和12年度末を完成予定としている北海道新幹線工事が完了するまで、早期実現が厳しい状況にあるが、引き続き、JR北海道と連携を図りながら、JR砂川駅東口の早期実現に向け、継続的に協議を進めていく。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
予約型乗合タクシー運行事業	乗合タクシーの利用者数 ／8,431人(令和元年)→8,431人(各年度)	目標値	8,431	8,431	8,431	8,431	8,431	—	新型コロナウイルス感染症対策が確立され、外出の機会が増えたことから、利用者が増加した。今後も市民の日常生活に必要な交通手段を確保することで、市民生活の利便性の向上を図る。
		実績値	8,583	9,304					
⑤ 災害対策の実施									
防災情報発信事業(災害対策事業)	SNS砂川市公式アカウント登録率 ／—(令和元年)→13%(令和7年)	目標値	8.2	9.4	10.6	11.8	13.0	—	悪天候が予想される場合の注意喚起情報などについて情報発信した。今後もSNSの特性を生かした情報伝達を進め、登録増を目指す。
		実績値	15.6	19.5					
自主防災組織育成事業(災害対策事業)	自主防災組織数 ／13団体(令和元年)→15団体(令和7年)	目標値	14	14	15	15	15	—	新規設置なし。コロナ禍で町内会の事業実施が制限されている状況ではあるが、防災意識の向上を図るため、町内会長へ新規設置の働きかけを続ける。
		実績値	13	13					
⑥ 暮らしを支えるデジタル化の推進									
住民票等コンビニ交付サービス事業	発行した証明書の件数 ／—(令和2年)→2,121件(令和7年)	目標値	—	264	1,272	1,483	2,121	—	サービス開始前から問い合わせがあるなど市民の関心が高く、マイナンバーカード交付枚数の増加に伴い、利用者が増加したものと推測される。今後も引き続き窓口や市HP等での周知に努める。
		実績値	—	328					
	マイナンバーカード交付枚数率 ／27.4%(令和2年)→100%(令和7年)	目標値	—	50.0	60.0	70.0	100.0	—	広報等の内容を工夫し、カードの作成意欲を高める情報発信を行ったこと、また、夜間・土曜窓口や店舗等出張申請窓口など多様な窓口を設けたことが考えられる。今後の取り組みとして、高齢者施設等への出張申請等を検討している。
		実績値	—	72.6					

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名	重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和4年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化									
① 良質な住宅ストックの確保									
ハートフル住まい推進事業	補助金交付件数 ／216件(令和元年)→150件(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	5つの補助金事業として実施しているが、誰もが安全に安心して住み続けることができる住環境づくり、定住促進、まちなか居住に寄与しているものであり、今後においても、社会情勢や需要の変化など、状況に応じた制度の見直しや拡充を行い、事業を継続する。
		実績値	258	266				—	
住み替え支援事業	補助金交付件数 ／115件(令和元年度)→87件(各年度)	目標値	87	87	87	87	87	—	移住促進補助金の申請増が主なものであり、補助金制度のPR活動により、制度の浸透が図れたと考える。今後も継続してPR活動を行い、空き家の利活用や移住定住の促進を図る。
		実績値	95	103				—	
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成									
① 他の地方公共団体と連携した施策の実施									
広域行政推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	各種事業や共同処理事務は順調に実施され、広域的な事業展開が図られている。今後も第4次中空知ふるさと市町村圏計画に基づき、継続して広域連携を進めるとともに、第5次計画の策定を進める。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
定住自立圏推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	令和4年度は、地元学生を対象とした合同企業説明会を3年ぶりに対面で開催し、133名(砂川高校:15名)の高校生・短大生が参加し、地元企業を知る良い機会となった。今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信に継続して取り組むほか、他の連携事業についても他市町と連携・協力しながら実施する。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保									
① 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり									

小計(事業数:16、KPI数:14)

合計(事業数:47、KPI数:45)